



# 実感算数

---

## 到達度診断

---

1

【ホップ1・2】

氏名

---

診断日

年 月 日

---

制作：都麦出版未来事業部

著作：ピグマリオン教育研究所

所長 伊藤 恭

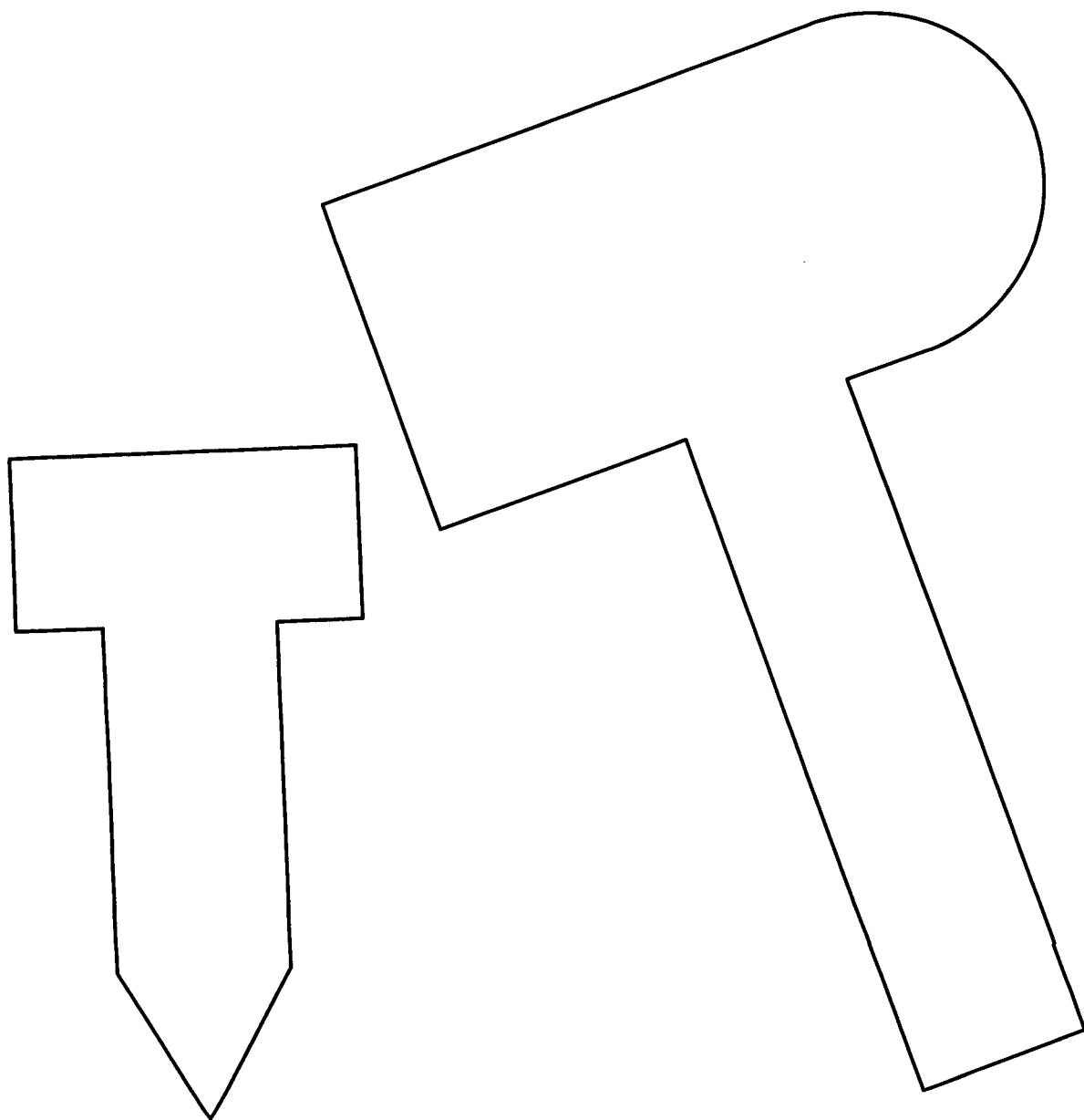
実施上の注意

《1～10の加減計算を支える能力》

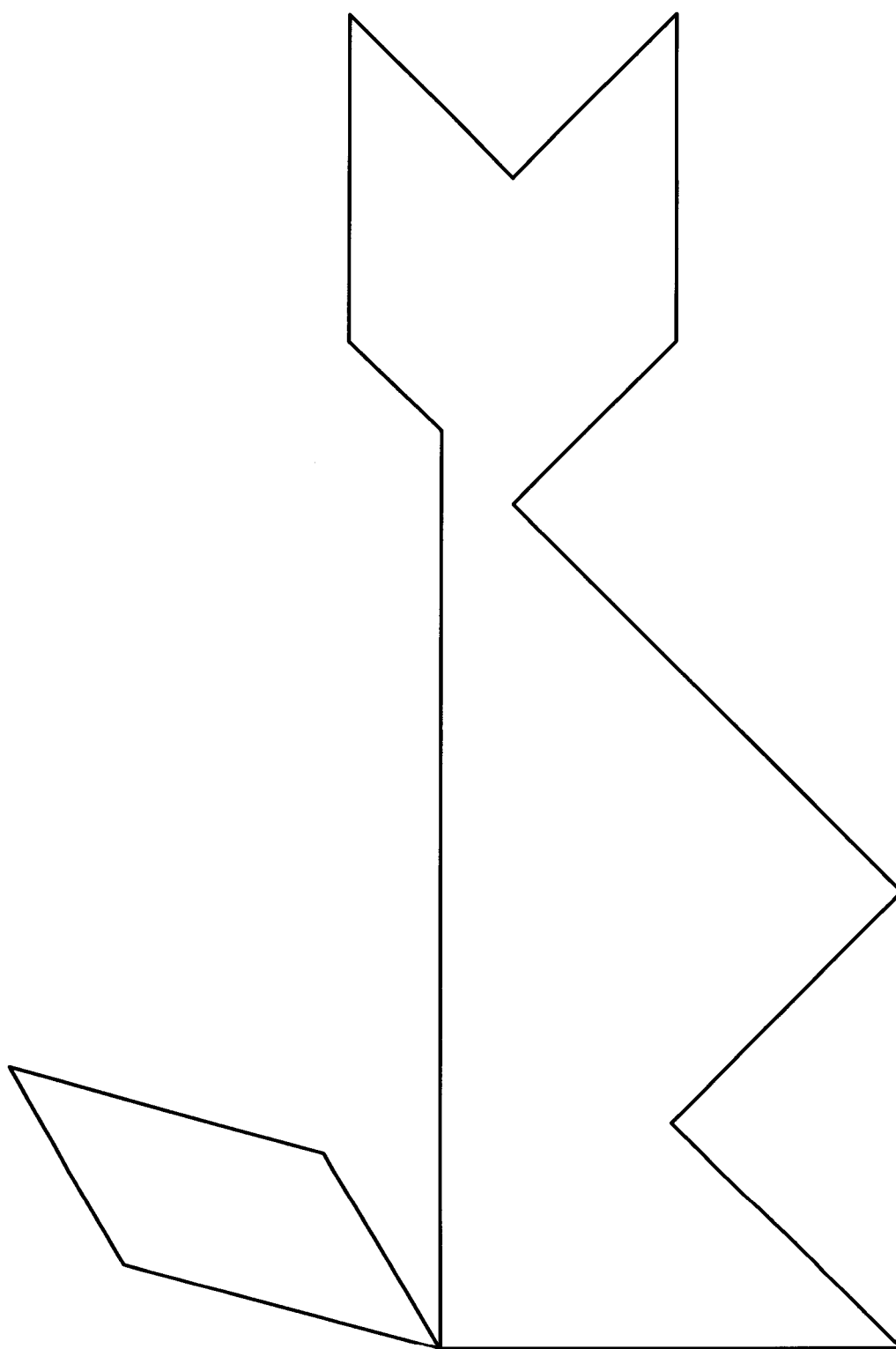
(実感算数・ホップ①②)

	教具名称	テスト時間		チェックポイント
		制限時間	結果	
図形	色板	3分		わかりやすい図形から置いているかのチェック。
	タングラム	3分		大きい図形から置いているか、直角を意識して置いているかのチェック。
算数問題	計算問題 (たし算)	3分		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)～(3)は、5までのたし算能力のチェック。手で数えていないかのチェックもして下さい。</li> <li>・(4)(5)(10)は、<math>5+(1\sim 5)</math>のたし算10算の能力のチェック。</li> <li>・(6)(7)(8)(11)は、<math>\langle 5+(1\sim 5)\rangle + \langle 1\sim 5\rangle</math>の和が10までのたし算能力のチェック。</li> <li>・(9)(12)は、10を1～5に合成分解できているかのチェック。</li> </ul>
	計算問題 (ひき算)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・(13)～(15)は、5までのひき算能力のチェック。</li> <li>・(16)～(18)は、<math>(6\sim 10)-5</math>のひき算能力のチェック。</li> <li>・(19)(20)は、10の補数能力をチェックするひき算。</li> <li>・(21)～(24)は、上記以外の、差が10までのひき算能力のチェック。</li> </ul>
	文章問題	5分		式を書かせる必要はありません。自分で問題を読んで、読み終わったら瞬時に答えが出てくるようになっていませんか。式はいりませんが、答えに数名詞をつけているかはチェックが必要です。必ず自分で問題を読むようにさせて下さい。
能力チェック	移転 (平面認知)	2分		この問題を間違えるようでは、算数の学習をさせても意味がありません。この種の能力開発問題と、点描写の問題を毎日1題ずつ数週間にわたってさせ、確実にできるようにさせることからレッスンを開始して下さい。この問題ができないものは、ものを見て取る能力がとても低いといえます。
	絵の合成分解	1分		構成把握能力、合成分解能力、判断力、注意力などをチェックする問題です。空白部分にあてはまるのを捜すわけですが、左端の絵にある部分をもつものは答えではないといった判断をすることも必要です。つまり、判断力、問題解決能力も必要です。
	点描写	4分		計算問題や文章題が正解なのに、この問題を間違えるものは、10までの数能力が本当の意味でついていないと判断できます。何度も消したり、斜めの線が間違ったりしているものは、毎日1題ずつ数週間のトレーニングをさせて正答率が高まれば、数えなくてもよい能力が育ちます。(ただし数えることが改まらないものもいます。)
	多数判断	1分		この問題を数えて解答するものは、数量感がありません。計算問題、文章題ができていても、それは暗記の結果であって数能力がないので、その後の指導が困難になるでしょう。どうすればよいかは、ご相談下さい。
合計時間		22分		

☺ おてほんのうえに いろいろたを のせてください。



☺ おてほんのうえに タングラムを のせてください。



◎ つぎの けいさんを しなさい。

(1)  $2 + 2 =$

(13)  $3 - 1 =$

(2)  $4 + 1 =$

(14)  $4 - 3 =$

(3)  $3 + 0 =$

(15)  $5 - 2 =$

(4)  $5 + 3 =$

(16)  $7 - 5 =$

(5)  $4 + 5 =$

(17)  $9 - 5 =$

(6)  $6 + 3 =$

(18)  $10 - 5 =$

(7)  $2 + 7 =$

(19)  $10 - 2 =$

(8)  $1 + 9 =$

(20)  $10 - 6 =$

(9)  $4 + 4 =$

(21)  $7 - 2 =$

(10)  $5 + 5 =$

(22)  $2 - 2 =$

(11)  $2 + 8 =$

(23)  $6 - 3 =$

(12)  $3 + 4 =$

(24)  $8 - 4 =$

◎ つぎの もんだいに こたえなさい。

(1) リスさんは、はじめ どんぐりを 9こ もっていましたが、サルさんに 3こ あげました。

リスさんの どんぐりは なんこに なったでしょうか。

こたえ

---

(2) おとうさんと メダカを すくいにいきました。おとうさんは 5ひき、しのちゃんは、4ひき すくいました。

ふたり あわせて、なんひきの メダカを すくいましたか。

こたえ

---

(3) ともちゃんは、おはじきを 7こ もっています。あと、なんこで 10に なるでしょうか。

こたえ

---

(4) かいがんで、おばあさんと かいひろいを しました。おばあさんは、9こ ひろいました。わたしは、3こ ひろいました。

どちらのほうが、なんこ おおく ひろったでしょうか。

こたえ

---

◎ ひだりの おてほんどおりに かきうつしなさい。

(1)

△		○	
○	△	×	
□		○	○

➔


(2)

×	○		△
△	○	○	
○		□	

➔


(3)

○	×	□	○
△		○	×
	□		

➔

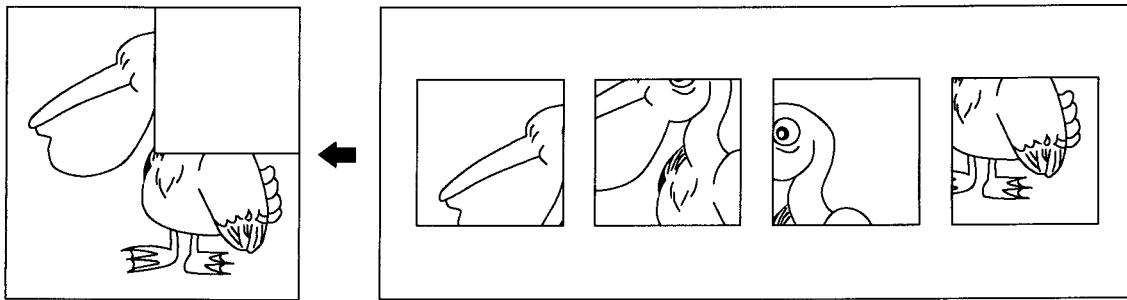

(4)

	○	×	□
△	□		○
	○		×

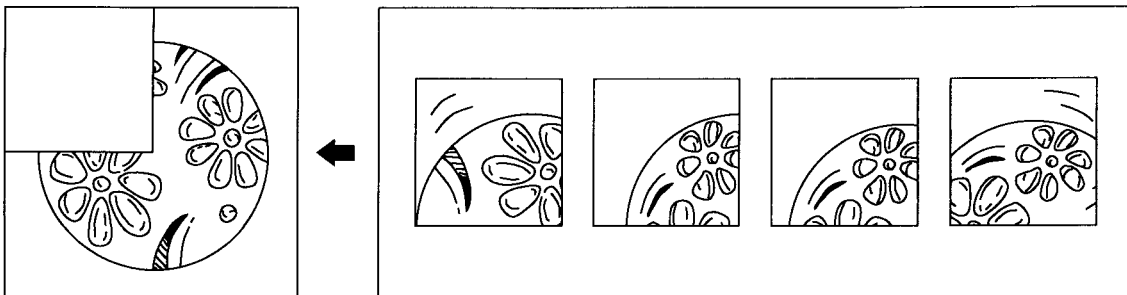
➔


◎ ひだりの □ のなかに はいるえをみつけて ○ をしなさい。

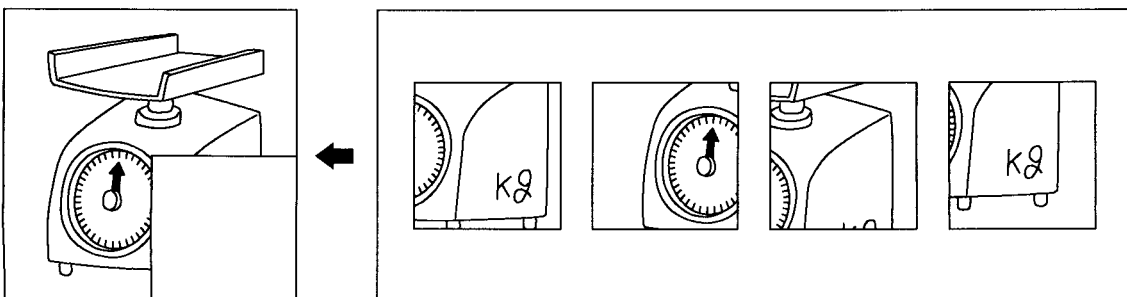
(1)



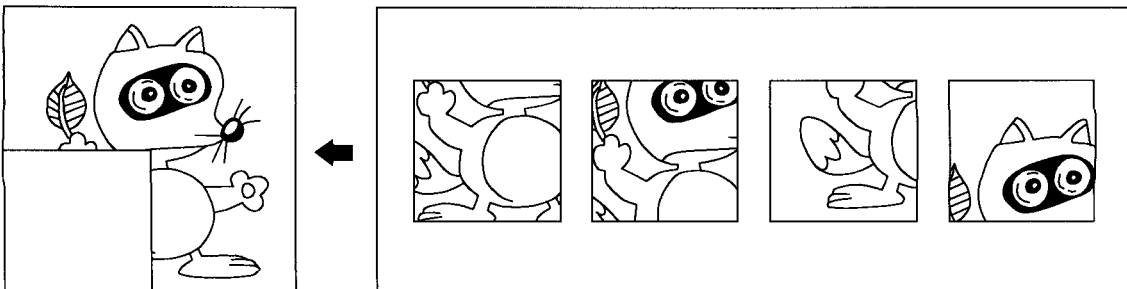
(2)



(3)

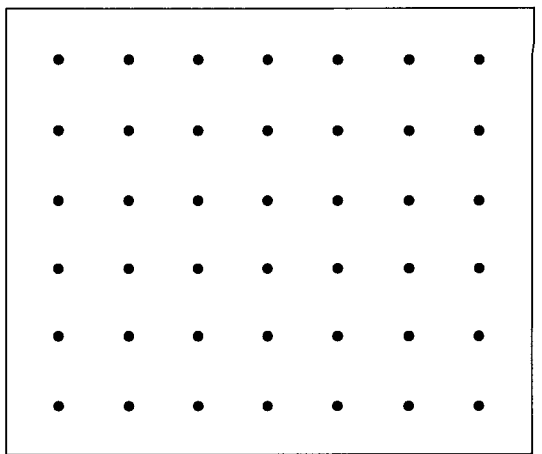
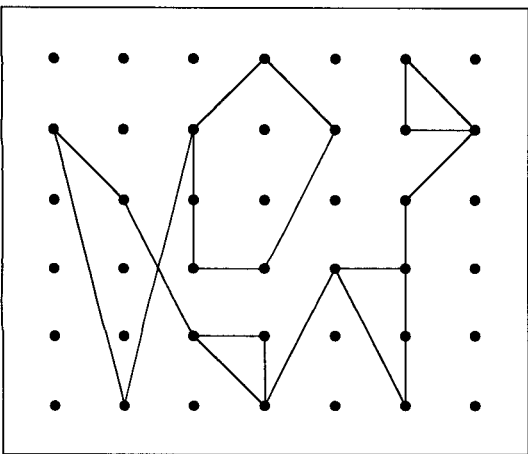
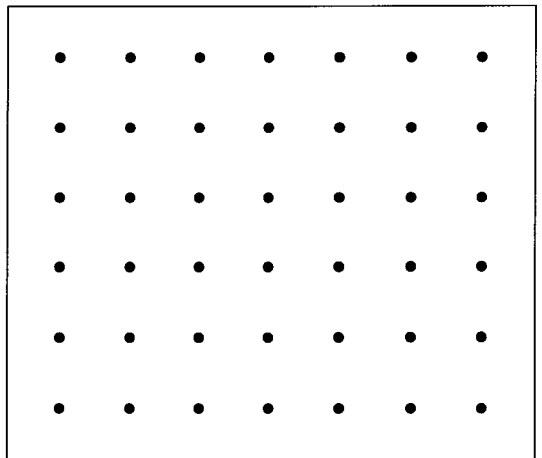
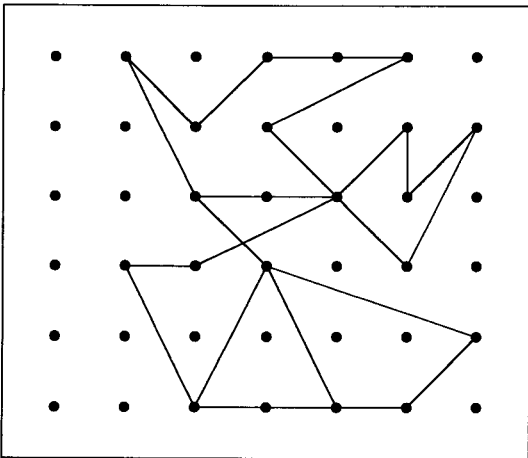
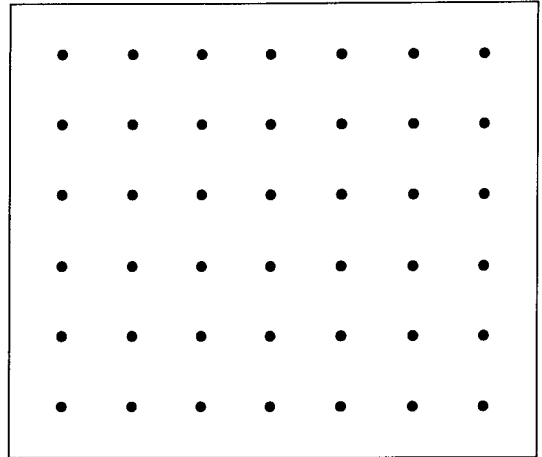
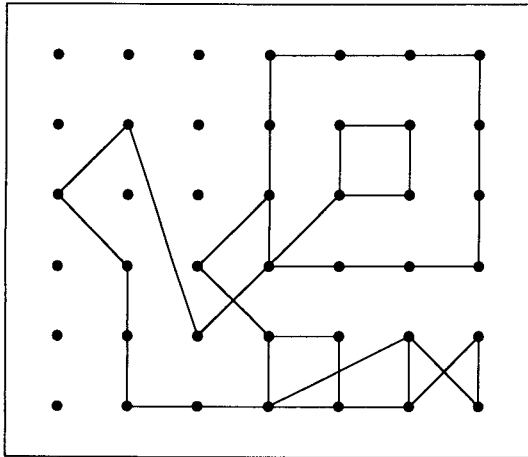


(4)



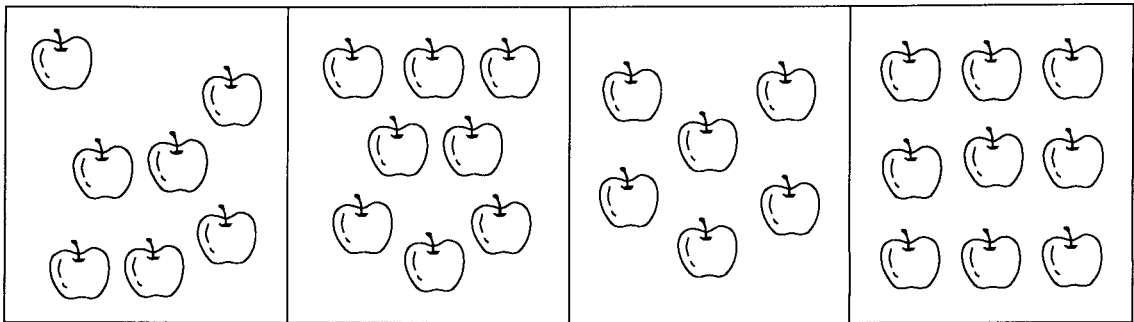


😊 てんをつないで ひだりの おてほんの かたちをかきなさい。

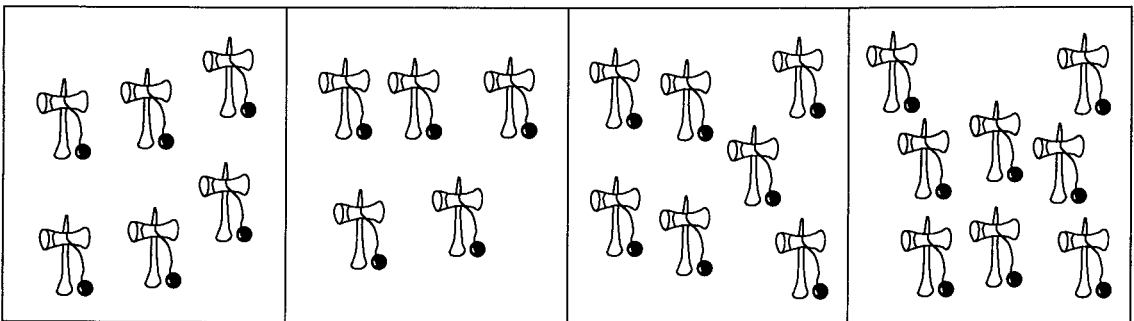


☺ かずが 1ばん おおい えに○、1ばん すくない えに×  
をしなさい。

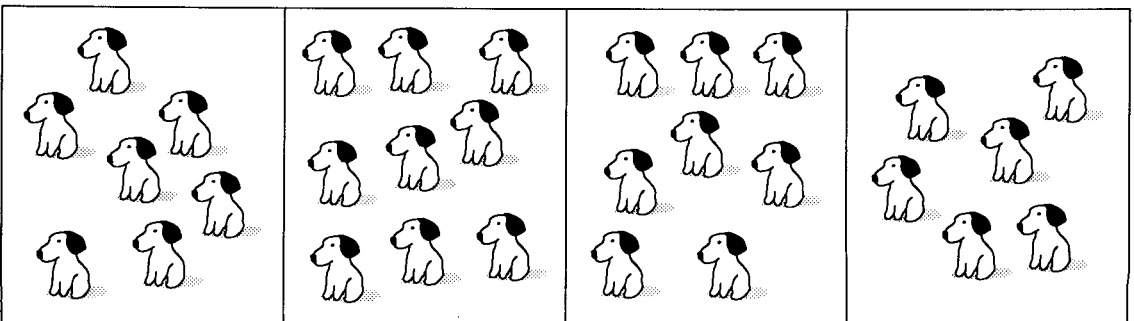
(1)



(2)



(3)



(4)

